

令和4年度のJA経営の状況

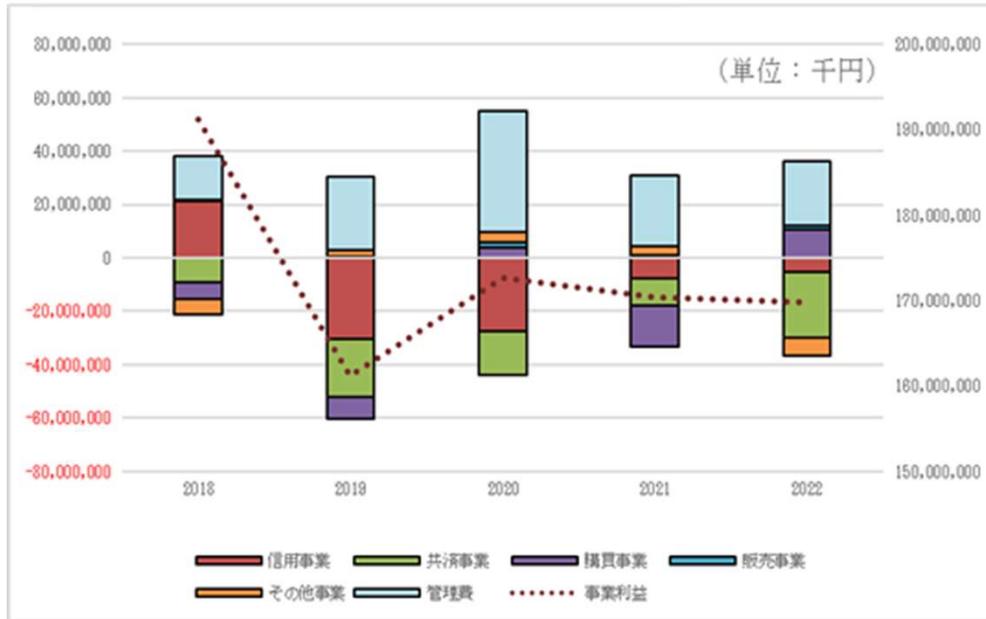
～総合農協統計表の分析～

令和6年6月18日

公認会計士 甲斐野新一郎

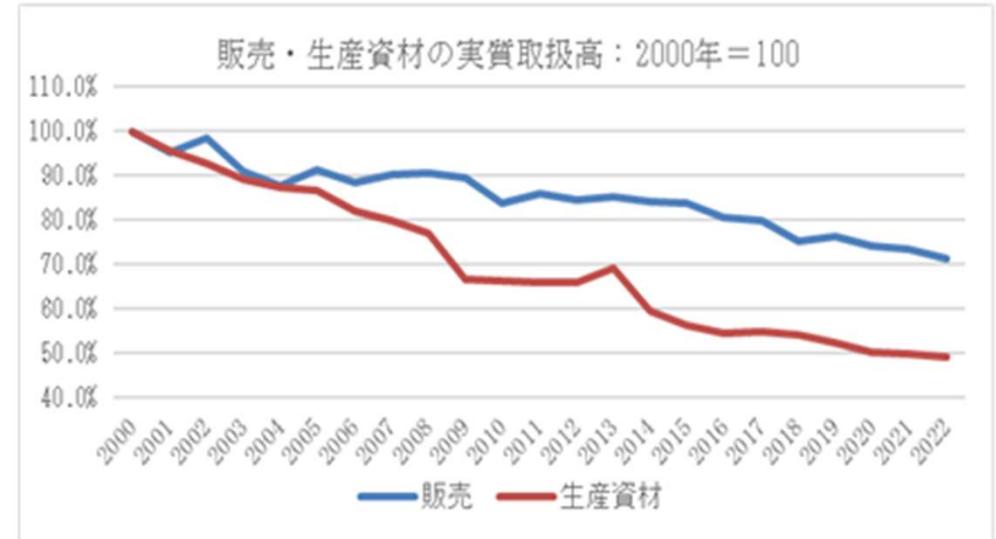
1. 事業総利益と購買・販売事業の動向

事業別の事業利益への貢献度



- R4年度の事業別の貢献度は信用・共済がマイナス
⇒共済の減少幅が大きい
- 購買・販売がプラス
⇒購買はマイナス(燃料)からプラス(肥料)へ
- その他事業がマイナス⇒燃料費と利用料
- 管理費は引続き減少
⇒意図しない要員数の減少
- 購買・販売事業は価格上昇の影響
実質ベースの取扱高

販売・生産購買の取扱高

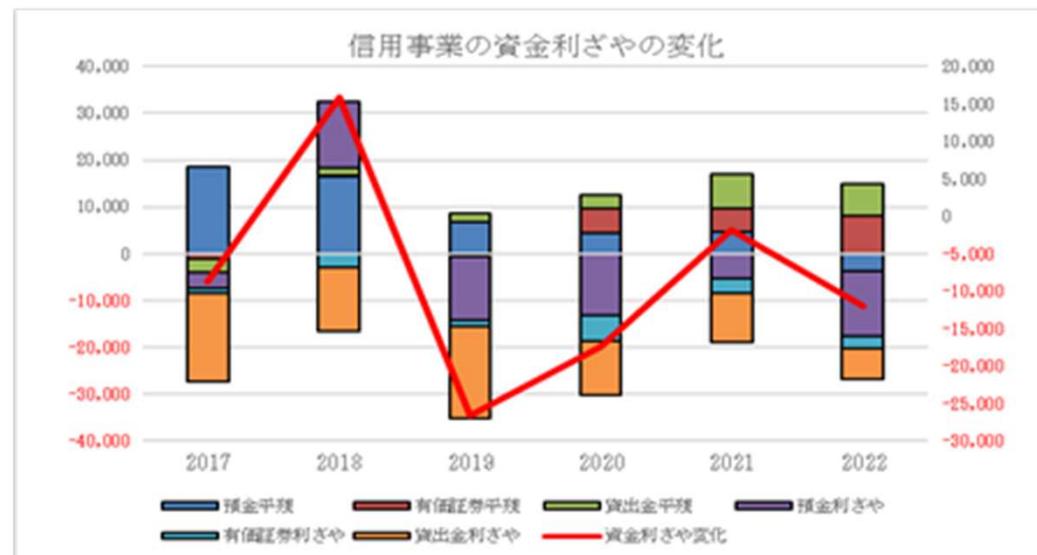


2. 信用事業の動向

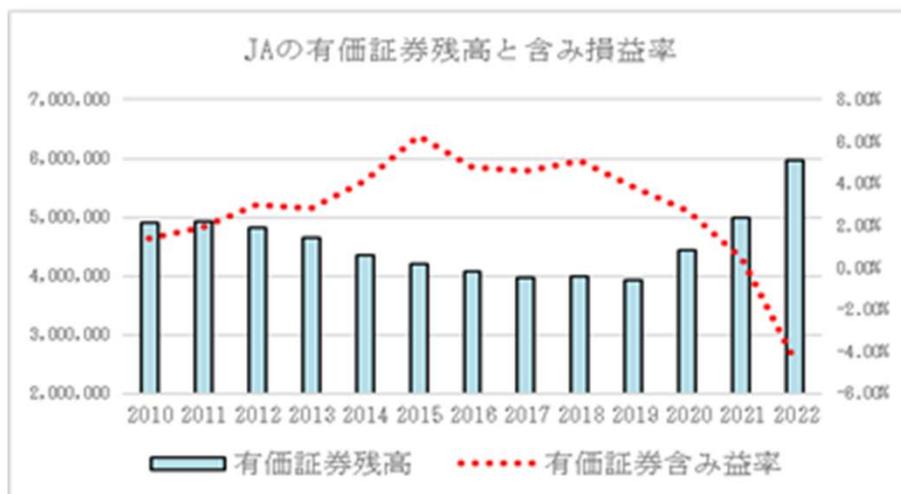
JAの資金運用の動向

年度	貯預率	貯証率	貯貸率
2010	67.6%	5.7%	27.8%
2011	68.5%	5.6%	26.8%
2012	69.4%	5.4%	25.8%
2013	70.3%	5.1%	25.1%
2014	71.5%	4.7%	24.2%
2015	72.7%	4.4%	23.4%
2016	74.3%	4.2%	22.3%
2017	75.2%	4.0%	21.4%
2018	76.1%	3.9%	21.0%
2019	76.2%	3.8%	20.9%
2020	75.6%	4.2%	20.8%
2021	74.9%	4.6%	21.0%
2022	73.7%	5.5%	21.4%

資金運用利ざや 単位：百万円

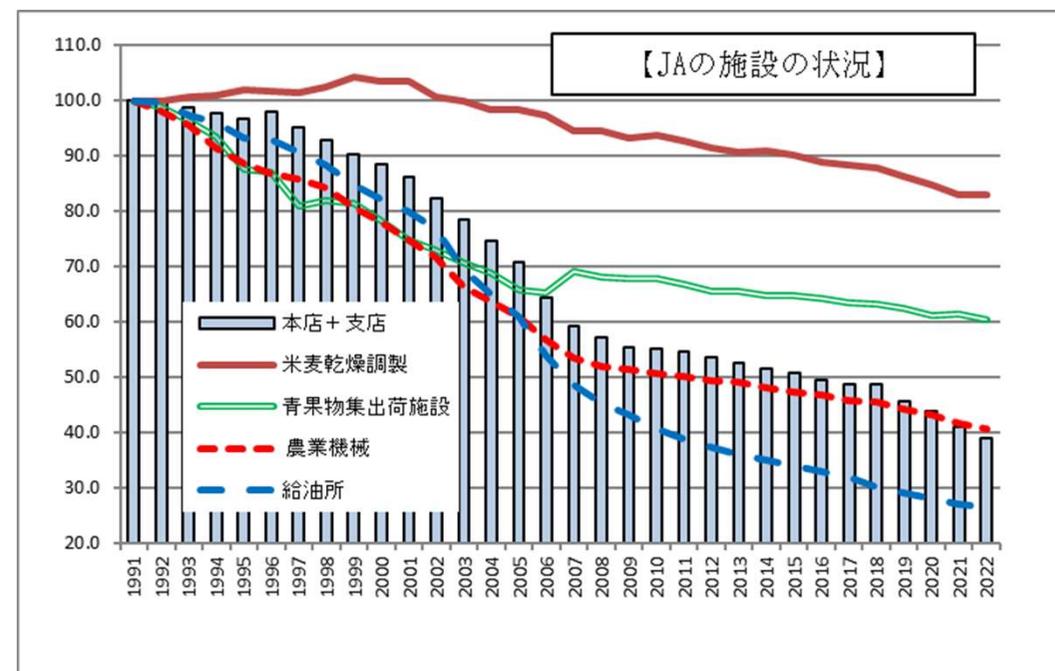
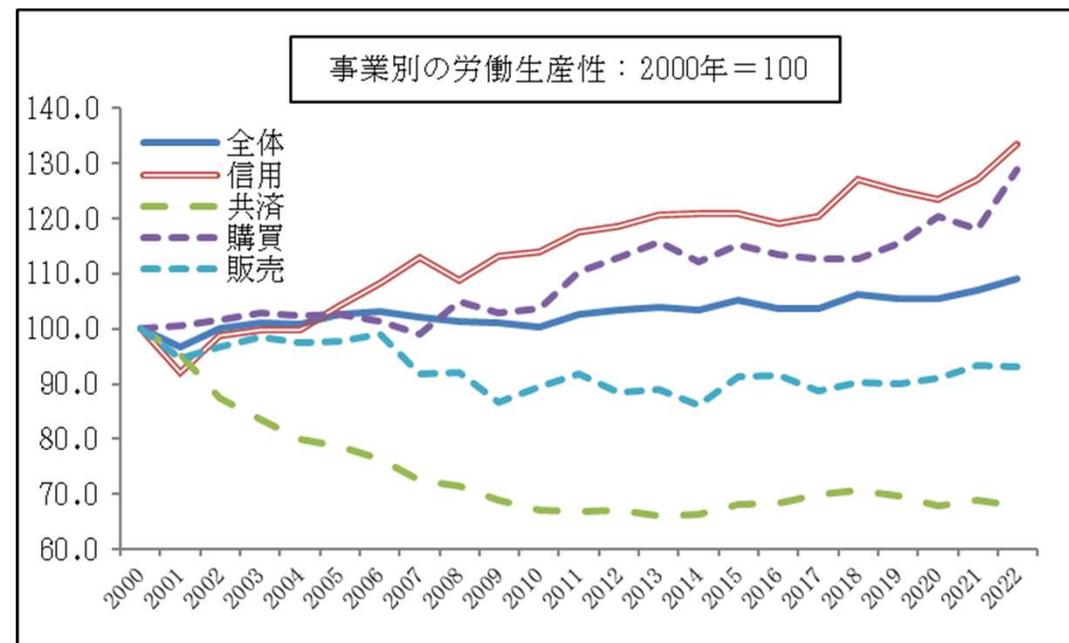
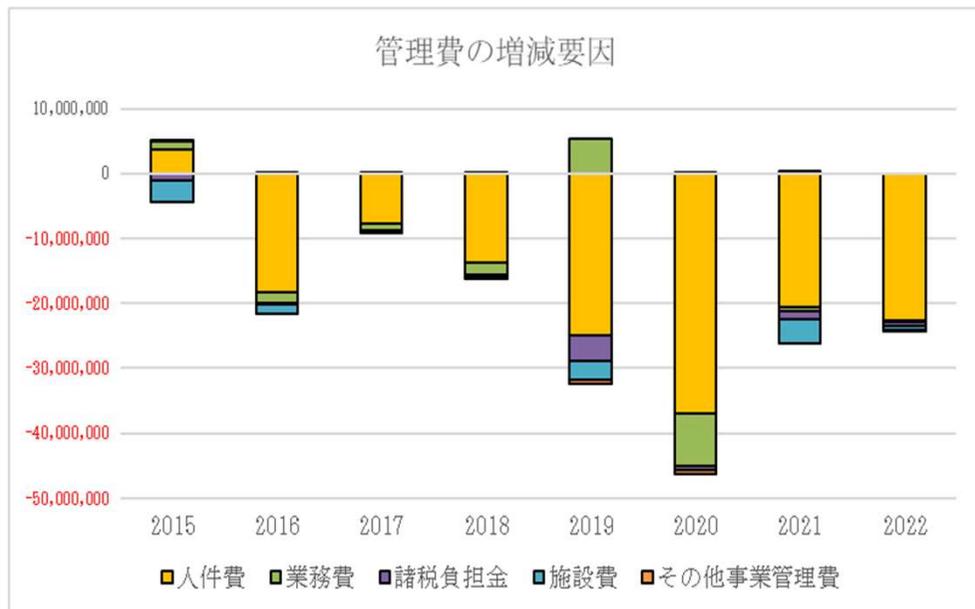


JAの有価証券運用：単位：百万円、%



- 貯金の伸びの鈍化⇒R5はマイナスに
- 貸出・有価証券の増加
⇒有価証券の含み損
⇒信連・農林中金の動向
- 預金利ざやの減少(預金奨励、利用高配当)
- 貸出金・有価証券利ざやのマイナス幅の減少
⇒日銀の政策転換

3. 管理費の動向



- 人件費は引続きマイナス
⇒要員数と人件費単価
- 事業別の労働生産性
⇒金融支店の再編

4. 組員数等の動向

【組合員数の動向】



単位：人、増減：左軸

- 組合員数の減少
⇒R4は准組合員も減少

JAの配当額と利用高配当JA数



- 利用高配当の実施JA数・金額の増加
⇒資材高騰対策